

# kanamoto カナモトエグザミナー examiner

株主の皆様ならびに投資家の皆様へ



vol.92

第56期(2020年10月期)第2四半期号

## 新型コロナウイルス感染症に対する当社の取り組み

### お客様・社員の安全確保を最優先に、徹底した感染防止に取り組んでいます。

2020年4月7日から49日間にわたって発令されていた新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言が5月25日、全国で解除されました。当社の主要顧客である建設業界では各団体がまとめたガイドラインなどを参考に、工事・業務における感染防止策が講じられ、当社でもお客様並びに社員の安全確保を最優先に、徹底した感染防止に取り組んでいます。今後も状況の変化に対応しながら感染防止に努めてまいります。

#### 主な取り組み

- 集合会議開催に当たっては、規模の縮小や延期、テレビ会議システムの活用を推奨
- レンタカー・重機等レンタル機器の返却・貸出に際し、通常の清掃作業に加えてアルコールや次亜塩素酸ナトリウム等によるハンドル・ドアノブ・シフトレバー等手指が触れる箇所の消毒を励行
- 万が一、当社役職員に新型コロナウイルス感染が発生した場合には、速やかに濃厚接触者の確認による適切な対応や必要に応じた営業所の休止・消毒等と共に、当社ホームページへ開示
- 各部署でグループ分けを行い、社員の半数程度を交代で自宅待機・在宅勤務（緊急事態宣言時、対象地域）
- 出勤する社員には、時差出勤を推奨
- 出張・接待・社内飲食等を原則禁止し、長時間の商談や面会も極力回避



アルコールなどによる消毒を徹底しているレンタル機器

## サンクスフェア2020に関するお知らせ

当社グループは、サンクスフェア2020の開催に向けて準備を進めてまいりましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大状況や、政府および地方自治体等からの注意喚起を踏まえ、お客様・関係者の安全面を第一に考慮した結果、「カナモトサンクスフェア in 江別、in 旭川」、「第一機械産業サンクスフェア in 鹿児島」以外はすべて中止することといたしました。

ご来場を予定されていたお客様にはご迷惑をおかけし誠に申し訳ございませんが、ご理解をいただきますようお願い申し上げます。

なお、江別、旭川、鹿児島で開催時期等につきましては、決まり次第当社ホームページにてご案内いたします。



<https://www.kanamoto.co.jp>



# 第56期第2四半期決算の概況 [2019年11月1日～2020年4月30日]

## ● 連結経営成績（累計）

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に帰属する 四半期（当期）純利益 (百万円)	1株当たり 四半期（当期）純利益 (円)
第56期第2四半期	91,414 (△0.5)	9,239 (△18.0)	9,046 (△21.4)	5,344 (△26.3)	138.33
第55期第2四半期	91,856 (7.6)	11,266 (2.5)	11,511 (3.2)	7,255 (7.7)	187.62

## ● 連結業績予想（累計）

第56期通期	182,700 (1.1)	16,100 (△9.8)	16,400 (△10.3)	9,900 (△13.4)	256.26
--------	---------------	---------------	----------------	---------------	--------

(注) 括弧内の数字は、前年同期増減率(%)を示しております。

### [経営環境]

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出や生産が弱含みで推移しつつも、堅調な企業収益を背景に雇用や所得環境の改善が続くなど景気は緩やかな回復基調にありましたが、新型コロナウイルス感染症の世界的流行の影響により、経済活動の低迷や株式市場の混乱もみられる等、極めて厳しい状況となりました。

当社グループが関連する建設業界におきましては、深刻化する自然災害への防災減災関連工事や社会資本の老朽化に対応する維持・更新等を中心に公共投資は底堅く推移し、民間建設投資も首都圏の再開発工事などを中心に明るさも見られ、事業環境は比較的堅調に推移いたしました。一方、新型コロナウイルス感染症の流行拡大により、一部工事の休止や延期の動きがあるなど、影響が発生しはじめました。

このような状況のなか、当社グループは、新中期経営計画（2020～2024年度）「Creative 60」の実現に向け、国内営業基盤の拡充、海外展開、内部オペレーションの最適化の3つの重点施策を進める一方で、これまでの成長軌道を維持しつつ市場環境に応じた選択と集中を図り、将来の業界再編や多発する自然災害への対応力強化にも努めております。

当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績につきましては、売上高は914億14百万円（前年同期比0.5%減）となりました。利益面につきましては、将来を担う人財投資やレンタルビジネスの収益性向上に向け中古建機販売を抑制していることなどから、営業利益は92億39百万円（同18.0%減）、経常利益

は90億46百万円（同21.4%減）、また、親会社株主に帰属する四半期純利益は53億44百万円（同26.3%減）となりました。

### [セグメント別の業績]

#### 建設関連

主力事業である建設関連におきましては、インフラ関連工事や防災減災関連工事、エネルギー関連工事や再開発工事などもあり、全体として建設機械のレンタル需要は底堅く推移いたしました。しかしながら、一部の工事現場では、新型コロナウイルス感染症により休止や延期の動きが見られるなど、影響を受ける結果となりました。

また、自然災害の復旧・復興活動などに対する支援体制強化を進めると共に、将来の地域毎の需要変化に即応可能な商品ラインナップの充実とレンタル用資産の適正配置により一層注力し、対応力の強化を図っております。

中古建機販売につきましては、売上高は前年同期比13.7%減となりました。

以上の結果、建設関連事業の売上高は830億62百万円（前年同期比0.6%増）、営業利益は85億94百万円（同18.5%減）となりました。

#### その他

その他の事業につきましては、福祉関連は堅調に推移いたしました。鉄鋼関連、情報通信関連は前期の反動や新型コロナウイルス感染症の影響もあり、売上高は83億51百万円（前年同期比9.8%減）、営業利益は4億28百万円（同15.3%減）となりました。

## ■ 連結財務諸表

### 四半期連結損益計算書（第2四半期連結累計期間）

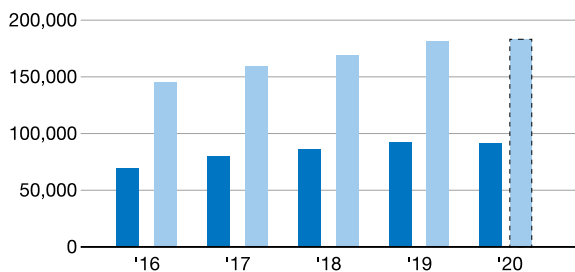
(単位:百万円)	第55期第2四半期 (2018.11.1~2019.4.30)	第56期第2四半期 (2019.11.1~2020.4.30)
<b>① 売上高</b>	91,856	91,414
売上原価	63,350	64,075
売上総利益	28,505	27,338
販売費及び一般管理費	17,239	18,098
<b>② 営業利益</b>	11,266	9,239
営業外収益	441	409
営業外費用	195	602
<b>③ 経常利益</b>	11,511	9,046
特別利益	61	16
特別損失	70	308
税金等調整前四半期純利益	11,501	8,754
法人税、住民税及び事業税	3,819	2,919
法人税等調整額	△ 162	△ 84
四半期純利益	7,844	5,918
非支配株主に帰属する四半期純利益	588	574
<b>④ 親会社株主に帰属する四半期純利益</b>	7,255	5,344

### 四半期連結包括利益計算書（第2四半期連結累計期間）

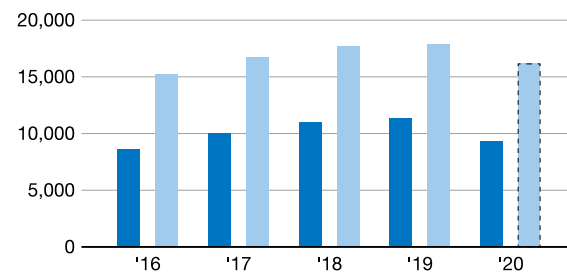
(単位:百万円)	第55期第2四半期 (2018.11.1~2019.4.30)	第56期第2四半期 (2019.11.1~2020.4.30)
四半期純利益	7,844	5,918
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△ 250	△ 589
繰延ヘッジ損益	△ 0	△ 0
為替換算調整勘定	△ 33	27
退職給付に係る調整額	△ 0	△ 29
その他の包括利益合計	△ 284	△ 590
四半期包括利益	7,560	5,327
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,972	4,764
非支配株主に係る四半期包括利益	587	562

■ 第2四半期 ■ 通期 ■ 通期予想 単位:百万円

#### ① 売上高



#### ② 営業利益



## 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)	第55期 (2019.10.31)	第56期第2四半期 (2020.4.30)
<b>(資産の部)</b>		
流動資産	111,393	112,589
固定資産	156,789	164,445
有形固定資産	141,084	149,502
無形固定資産	1,680	1,608
投資その他の資産	14,024	13,334
資産合計	268,182	277,035
<b>(負債の部)</b>		
流動負債	78,519	78,875
固定負債	67,883	73,609
負債合計	146,403	152,485
<b>(純資産の部)</b>		
株主資本	113,783	116,591
資本金	17,829	17,829
資本剰余金	19,324	19,324
利益剰余金	76,638	80,433
自己株式	△ 9	△ 996
その他の包括利益累計額	1,723	1,144
その他有価証券評価差額金	1,918	1,334
繰延ヘッジ損益	0	-
為替換算調整勘定	△ 192	△ 164
退職給付に係る調整累計額	△ 2	△ 25
非支配株主持分	6,272	6,814
純資産合計	121,779	124,549
負債純資産合計	268,182	277,035

## 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)	第55期第2四半期 (2018.11.1~2019.4.30)	第56期第2四半期 (2019.11.1~2020.4.30)
営業活動によるキャッシュ・フロー	25,528	21,108
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,649	△ 1,751
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 10,038	△ 16,522
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 0	13
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	13,840	2,847
現金及び現金同等物の期首残高	36,733	43,511
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	390	-
現金及び現金同等物の四半期末残高	50,963	46,358

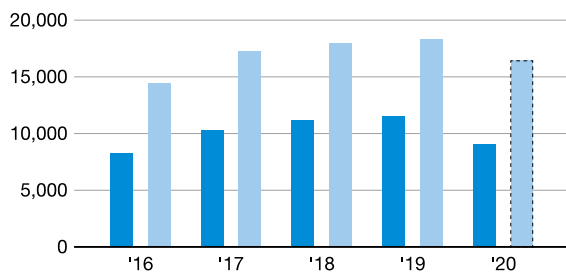
### とってもいいモノ・読者プレゼント

巻末のアンケートハガキをご返送いただいた方の中から、抽選で100名様に当社のオリジナルノベルティグッズをお贈りします。今号のプレゼントは、カナモト坊やのスポーツタオルです。ほどよいボリューム感で吸水性もよく、使い勝手の良いサイズなのでスポーツやお風呂などさまざまな用途でお使いいただけます。

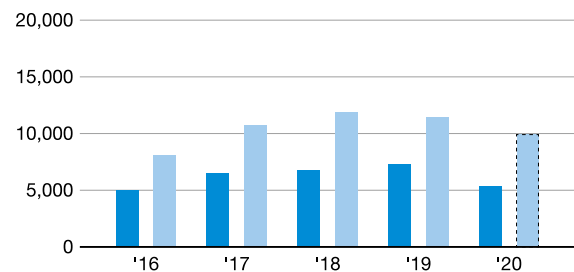


ご応募の締め切りは2020年8月7日(金) 当日消印有効です。  
なお、当選の発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。

### ③ 経常利益



### ④ 親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



# TOPICS

IR IR関係

事業関係

イベント

2Q

2020.2

🔄 レンタル事業部「広域特需営業部」に「特需課」を新設

2020.3

📄 IR 第56期（2020年10月期）第1四半期決算発表

🔄 新型コロナウイルス感染症に対する当社の取り組みについて発表

📄 IR 自己株式取得に係る事項の決定について発表

2020.4

👤 入社式・新入社員研修の規模を縮小し分散開催（今年度の新入社員は100名）📷

🔄 AI映像解析による接触防止システム「ナクシデント」の積極的導入を促進

🔄 新型コロナウイルス感染症に対する当社の取り組みについて発表（第二報）

🔄 倉敷営業所（岡山県倉敷市）を開設 📷

🔄 株式会社山本製作所（福岡県大牟田市）から建機事業部門を譲受



3Q

2020.5

🔄 特機エンジニアリング部荒尾機械センター（熊本県荒尾市）を開設

2020.6

📄 IR 第56期（2020年10月期）第2四半期決算発表

📄 IR 第56期（2020年10月期）第2四半期決算オンライン説明会を実施（機関投資家向け）📷

📄 IR 自己株式の市場買付および取得完了について発表



## Photo Report

## 各地で進む復興工事



北海道勇払郡厚真町の林道復旧工事



岩手県下閉伊郡山田町の水門工事



岩手県下閉伊郡山田町の地盤改良工事



岩手県九戸郡野田村の橋梁上部工事



宮城県気仙沼市の道路改良工事



宮城県石巻市の橋梁工事



宮城県石巻市の排水ポンプ場建設工事



宮城県柴田郡村田町の取水堰工事



宮城県本吉郡南三陸町の水戸辺河川災害復旧工事



宮城県牡鹿郡女川町の橋梁下部工事



千葉県成田市の空港法面復旧工事



広島県安芸郡坂町の天地川災害復旧工事



## 会社概要 (2020年4月30日現在)

商号	株式会社力ナモト (英文: Kanamoto Co., Ltd.)
本社	北海道札幌市中央区大通東3丁目1番地19
営業統括本部	東京都港区芝大門1丁目7番地7
設立	1964 (昭和39) 年10月28日
資本金	178億29百万円 (払込済資本金)
上場取引所	東京証券取引所市場第一部・札幌証券取引所
証券コード	9678
発行済株式総数	38,742千株
連結売上高	1,806億94百万円 (2019年10月期)
連結従業員数	3,281名 (2019年10月31日現在) (役員、嘱託、臨時社員を除く)

## 株主メモ

事業年度	11月1日～翌年10月31日
定時株主総会	毎年 1月中
同総会議決権行使株主確定日	毎年 10月31日
中間配当金受領株主確定日	毎年 4月30日
期末配当金受領株主確定日	毎年 10月31日

株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	三菱UFJ信託銀行株式会社
同郵便物送付先	三菱UFJ信託銀行株式会社
及び電話照会先	

証券代行部 〒100-8212 東京都千代田区丸の内1丁目4番5号  
証券代行部 〒137-8081 新東京郵便局 私書箱第29号  
電話 0120-232-711

### 株式に関する各種お手続きについて

- 株主様の住所変更、配当金の振込みのご指定、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関 (証券会社等) で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人 (三菱UFJ信託銀行) ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関 (三菱UFJ信託銀行) にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

## 役員 (2020年4月30日現在)

代表取締役会長	金本 寛中	監査役	金本 栄中
代表取締役社長	金本 哲男*		横田 直之
取締役	成田 仁志*		生島 典明
	金本 龍男*		松下 克則
	平田 政一*		石若 保志
	磯野 浩之*	執行役員	熊谷 浩
	麻野 裕一*		問谷 悟
	橋口 和典*		北川 健
	内藤 進		渡部 純
	有田 英司		佐藤 信幸
	米川 元樹		中谷 秀樹
	田端 綾子		廣瀬 俊
			山下 英明
			三野宮 朗
			田中 誠一

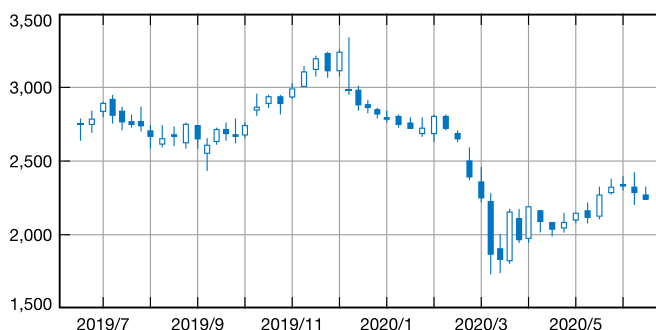
(注) 1. \*印の取締役は、執行役員を兼任しております。  
2. 取締役内藤進氏及び取締役有田英司氏、取締役米川元樹氏、取締役田端綾子氏は社外取締役であります。  
3. 監査役生島典明氏及び監査役松下克則氏、監査役石若保志氏は社外監査役であります。

当社公告の掲載につきましては、当社ホームページに掲載いたします。ホームページのURLは下記のとおりです。

<https://www.kanamoto.co.jp> または <https://www.kanamoto.ne.jp>  
なお、やむを得ない事由により、ホームページに公告を掲載することができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

## 株価チャート (週足)

単位: 円





本誌は、ベジタブルオイルインキを使用しております。

新婚旅行に行きたい！

このたびはごめん  
やましいかなしいになる



株式会社 **力十モト**

(東証一部・札証 証券コード9678)

本社

〒060-0041 札幌市中央区大通東3丁目1番地19

Tel: (011) 209-1600(大代表)

営業統括本部

〒105-0012 東京都港区芝大門1丁目7番地7

Tel: (03) 5408-5600

<https://www.kanamoto.co.jp>